

Veeamの 契約を更新すべき理由

Veeam®をご利用いただきありがとうございます。Veeamは、データ管理方法を進化させる革新的な製品や機能を提供し続けています。データをよりスマートで自己管理可能なものにするだけでなく、あらゆるアプリケーションやクラウドインフラストラクチャにおけるデータの可用性も実現しています。これらは全て、お客様からの日々の支援やフィードバックによるものです。

Veeamの契約を更新すべき理由

Veeamとの契約を更新することは、Veeamのイノベーションを最大限に活用し、データを常に利用可能な状態で保護しながら、世界中の企業で積極的に活用できるようにするための最も簡単な方法です。

有効な契約をお持ちのお客様は、次のようなメリットを受けられます。

- 最新のメジャーリリース、製品のアップデート、パッチの取得
- 全世界で24時間365日対応可能な問題解決サポート
- [オンライン](#)でのライセンスの管理
- ワークロード間での移動が可能な、Veeamユニバーサルライセンスへの移行
- 契約の失効と回復手数料を回避

優れた新機能やアップデートを全て利用可能


Veeamでは、常にテクノロジー改善に取り組んでおり、新機能を続々と追加しています。そしてこの革新的な機能の数々を、是非お客様にご活用いただきたいと思っています。保守契約が有効であれば、ご利用いただいている製品の最新機能を全て無料でご利用いただけます。最新バージョンがリリースされた場合でも、追加費用が発生することはありません。

保守契約が有効なら、ご希望のハイパーバイザーの最新バージョンへのアップグレードも迷うことはありません。アップグレードに合わせてVeeamのサポートを受けられます。現在ご利用のVeeam製品が最新バージョンかどうか確認するには、[こちらをご覧ください](#)。


ライセンス管理

[ライセンス管理ポータル](#)はオンラインのツールで、次のことが可能です。

- 利用可能な製品キーおよび新バージョンのダウンロード
 - **新規ライセンスと既存ライセンスの統合**
 - **エディションのアップグレードと更新の見積もり依頼**
 - ライセンスの[サポートケース](#)を利用して、ライセンス管理者やハイパーバイザーを変更
- 詳細については、[ライセンスに関するFAQポータル](#)をご覧ください。



全世界に40万社以上のお客様を誇るVeeamは、CRN®によって「2022 ソフトウェア定義のデータセンター50」に選出されました。[導入事例](#)では、Veeamが企業や組織の成功にいかに関与しているかをご覧ください。



「Veeamは、現在の市場で最も投資対効果に優れた、包括的なバックアップ・ディザスタリカバリソリューションです。」

— ウィリアム・パーソン氏、
米国、Brochsteins Inc.、IT管理者

「Veeamには助けられました。非常に小さなファイルから仮想マシン全体までを復元できたのです。」

— ニュートン・タイポスリ氏、
オーストラリア、
Museum of Contemporary Art、
ネットワーク・システム管理者

電話やWebによる多言語対応サポート

高い評価を得ているVeeamのサポート。サポートチームに寄せられるお問い合わせの多くは、Veeam製品自体ではなく、仮想環境の設定に関する内容です。そうしたお問い合わせにも、Veeamは全力で対応します。弊社のサポートサービスが他社よりも優れている理由の一部を以下に挙げます。

- サポート可能な技術者が常に待機
- Veeamのエンジニアの多くはVMware認定資格を持ち、ほとんどがVCA-DCV認定資格を取得。サポートには常時、VCP認定資格を持つ多数のエンジニアと資格取得中のエンジニアが従事
- お客様にアンケートを実施して回答を常に漏れなく確認。必要に応じて回答者と連絡を取り、アンケートの情報をサービス向上に反映
- Veeamのお客様は、さらに支援が必要な場合に、Veeamサポートの管理チームに直接連絡可能

貴社に最適なサポートレベルを選択できます。

サポートプログラム	営業時間	製品のアップデート	製品のアップグレード	テクニカルサポート
ベーシックサポート	月～金 8:00～20:00	✓	✓	電話/ウェブ
プロダクションサポート	24時間365日	✓	✓	電話/ウェブ
プレミアムサポート	24時間365日 月～金 8:00～18:00 サポート担当者	✓	✓	電話/ウェブ/ サポート担当者

更新料の算定方法

現在、プロダクションサポートについて、年単位の永久ライセンスの更新は、更新時点での完全な新規ライセンスのMSRPの27%の価格に設定されています。ベーシックサポートが付属する従来のソケット単位のライセンスの場合、年単位の更新の価格は、完全な新規ライセンスのMSRPの22%の価格に設定されています。MSRPには、各地域の税金（VAT、GST、消費税）は含まれません。永久ライセンスモデルでは、最初にご購入いただくライセンスに1年間のベーシックサポート（保守）が付属しています。永久ライセンス保守契約の更新については、特定機関向けの割引はありません。

サブスクリプションの更新料は、現行のサブスクリプション料金で設定されます。公共機関および教育機関は、サブスクリプションの更新の際に割引が適用される場合があります。

更新時期までにデータ保護のニーズに変化があった場合は、弊社カスタマー・サクセス・チームにご相談ください。既存のデータ保護ソリューションの分析をサポートするとともに、新たなニーズについても評価。現在お持ちの課題に最適な製品をご提案します。

「Veeamは非常に優れた製品です。しっかり機能し、必要に応じてデータのバックアップとリストアを行えることにIT管理者として満足しています。

また、必要なときに必ず機能してくれるだろうと信頼しています。それから、Veeamはサポートも最高です。常に問題をできる限り早く解決できるように支援してくれて、とても感謝しています。」

— ヒレン・ドーシー氏、
SecureLink UK Ltd

「Veeamは、私が11年間のITのキャリアで見してきた中で最も優れたバックアップツールのひとつです。テクニカルサポートのスタッフが素晴らしく、言葉では言い表せません。」

— ヌシャド・モハマド氏、
アラブ首長国連邦、
Qanawat FZ LLC、
システムエンジニア

Veeam契約を更新しない場合のデメリット

永久ライセンスの場合、期限を過ぎてから更新を行うと、25%の回復料金が適用されます。猶予期間は0日で、契約失効のまま経過したサポート分の費用も支払う必要があります。サポートやその他の有効な保守契約のサービスは、期間満了時に提供されなくなります。

期限切れのサブスクリプション契約を更新する場合は、追加の回復手数料は発生しません。ただし、ライセンス機能は利用できなくなります。

Veeam保守契約は、常にサポート契約満了日からの更新となります。

業界最高のエキスパートとユーザーからのヒントを活用

Veeamでは、仮想環境、物理環境、クラウド環境を最大限に活用するうえで役立つリソースを提供しています。導入時にちょっとしたヒントが必要な場合も、高レベルの支援が必要な場合も、Veeamにお任せください。Veeamの直感的で革新的なソリューションと併せて、[製品のデモンストレーション](#)、[オンラインセミナー](#)、[ホワイトペーパー](#)、活発なユーザー[フォーラム](#)などの経験者によるリソースをご利用いただくことで、成功へと大きく近づくことができます。

貴社のニーズに最適なライセンスモデルは？

ソケットライセンスは従来のライセンスモデルで、VMware vSphereとMicrosoft Hyper-VのVMのバックアップが可能です。

ご利用のソケットライセンスをVULに移行すると、ライセンスのポータビリティが向上し、アジャイル環境や、ハイブリッド、マルチクラウド環境でもご利用いただけます。VULライセンスでは、VMware vSphereやMicrosoft Hyper-VのVMのバックアップだけでなく、MicrosoftやOracle、SAP HANA、さらにNAS (v10以降) などのその他のワークロードに対応するエンタープライズアプリのバックアップも可能です。



Gartner®

Veeam、2021年の [Gartner Peer Insights](#)で、データセンターバックアップ/リカバリソリューション部門の「[Customers' Choice](#)」に選出

Veeam、あらゆる規模のビジネスで [最先端のデータ保護の需要](#)が高まり、2021年は27%の成長率を記録

[ガートナー、Veeam®を6度目となるリーダーに選出。](#)
「実行能力」と「ビジョンの完全性」で高い評価を獲得

Veeam製品のライフサイクル*

製品	バージョン	リリース日	修正終了	サポート終了
Veeam Backup & Replication	11.0	2021年2月	次回のGA日	2024年2月
	10.0	2020年2月	2021年2月	2023年2月
Veeam ONE	11.0	2021年2月	次回のGA日	2024年2月
	10.0	2020年2月	2021年2月	2023年2月
Veeam Backup for Nutanix AHV	3.0	2021年10月	次回のGA日	2024年10月
	2.0	2020年3月	2021年10月	2023年3月
	6.0	2021年9月	次回のGA日	2024年9月
Veeam Service Provider Console	5.0	2021年2月	2021年9月	2024年2月
	4.0	2020年3月	2021年2月	2023年3月
	3.0	2019年3月	2020年3月	2022年3月
Veeam Availability Orchestrator	5.0	2021年11月	次回のGA日	2024年11月
	4.0	2021年3月	2021年11月	2024年3月
	3.0	2020年7月	2021年3月	2023年7月

製品	バージョン	リリース日	修正終了	サポート終了
Veeam Agent for Microsoft Windows	5.0	2021年2月	次回のGA日	2024年2月
	4.0	2020年2月	2021年2月	2023年2月
Veeam Agent for Linux	5.0	2021年2月	次回のGA日	2024年2月
	4.0	2020年2月	2021年2月	2023年2月
Veeam Agent for Mac	1.0	2021年2月	次回のGA日	2024年2月
Veeam Agent for Oracle Solaris	3.0	2021年9月	次回のGA日	2024年9月
	2.0	2020年6月	2021年9月	2023年6月
Veeam Backup for Microsoft 365	6.0	2022年3月	次回のGA日	2024年3月
	5.0	2020年12月	2022年3月	次回のGA + 2バージョン
	4.0	2019年11月	2020年12月	2022年11月
	3.0	2019年4月	2019年11月	2022年4月
Veeam Management Pack for Microsoft System Center	9.0	2020年6月	次回のGA日	次回のGA日 + 1バージョン
	8.0	2015年8月	2020年6月	次回のGA日 + 1バージョン
Veeam Backup for AWS	5.0	2022年6月	次回のGA日	次回のGA日 + 1バージョン
	4.0	2021年10月	2022年5月	次回のGA日 + 1バージョン
	3.0	2020年12月	2021年12月	2022年6月
Veeam Backup for Microsoft Azure	4.0	2022年7月	次回のGA日	次回のGA日 + 1バージョン
	3.0	2021年10月	2022年7月	次回のGA日 + 1バージョン
	2.0	2021年2月	2021年12月	2022年7月
Veeam Backup for Google Cloud	3.0	2022年5月	次回のGA日	次回のGA日 + 1バージョン
	2.0	2021年8月	2022年5月	次回のGA日 + 1バージョン
	1.0	2021年1月	2021年8月	2022年5月
Veeam Agent for IBM AIX	4.0	2022年5月	次回のGA日	2025年5月
	3.0	2021年9月	2022年5月	2024年9月
	2.0	2020年9月	2021年9月	2023年9月

更新についてご不明な点がございましたら、更新依頼フォームより担当チームまでお問い合わせください：veeam.com/jp/renewal.html

更新方法



更新用フォーム
より依頼

または



ご希望のVeeam製品取り扱い
リセラーへ見積もりを依頼

*Veeamの最新リリースや最新情報は、弊社の製品ページやプレスリリースでご確認ください。